

Pioneer

取扱説明書

通信ドライブレコーダーユニット

TMX-DM02-VA

端末の使い方

ドライブレコーダー機能
(映像記録機能)

事故予防・
事故防止支援機能

緊急通報録画機能

ハンズフリー機能

車速情報・システム設定・
ファームウェアアップデート

PC アプリ

困ったときは

付録

目次

端末の使い方

端末の主な機能	4
端末の使い方 (サービスの開始と終了)	5
サービスの開始から終了まで	5
端末の電源をオフにする	7

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)	8
ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について	8
ドライブレコーダー機能に関する ご注意	9
録画された映像の 取り扱いについて	10
録画した映像を端末で再生する	11
・ イベント録画映像を 手でロック/ロック解除する	13
ドライブレコーダー機能の 確認・変更	14
ドライブレコーダーの 設定を行う画面を表示する	14
・ 音声録音を ON / OFF にする	15
・ 常時録画の設定をする	15
・ イベント録画の設定をする	16
・ 端末の向きを確認する	17

事故予防・事故防止支援機能

事故未然防止機能	18
ヒヤリハット地点警告機能 について	18
ヒヤリハット地点警告機能の 設定を行う画面を表示する	18

・ ヒヤリハット地点を ON / OFF にする	19
危険挙動警告機能	20
危険挙動警告機能について	20
衝撃検知機能	21
衝撃検知機能について	21
その他警告機能について	22

緊急通報録画機能

緊急通報録画機能	23
緊急通報録画機能について	23
緊急通報録画をする	23

ハンズフリー機能

ハンズフリー機能	24
ハンズフリー機能について	24
・ 電話のかけ方	24
・ 電話の受け方	25

車速情報・システム設定・ ファームウェアアップデート

車速情報の取得方法の設定	26
情報通知設定を行う画面を 表示する	26
・ 車速情報の取得方法を設定する	27
システム設定の確認・変更	28
システム設定を行う画面を 表示する	28
・ 操作ロックを設定する	29
・ 操作ロックを解除する	30
・ 音声メッセージと警告音等の 音量を設定する	31
・ 端末の明るさを設定する	31
・ モニターの表示状態を設定する	32
・ microSD カードを初期化する	33
・ 端末の設定を初期化する	34

- ・ 端末の認識番号 (IMEI 番号) を
確認する..... 35
- ・ 法的情報を確認する..... 35
- ・ 端末のシステムのバージョンを
確認する..... 36
- Bluetooth 設定をする..... 37
 - ・ Bluetooth 接続を
ON / OFF にする..... 37
- ・ 端末周辺の機器を探して
接続する..... 38
- ・ 接続する機器から本端末を
探して接続する..... 39
- ・ 機器との接続を
切断 / 登録解除する..... 39
- ・ HFP (ハンズフリープロファイル)
接続を ON / OFF にする..... 40
- 端末をアップデートする..... 42**

- ドライブレコーダー機能を
利用しているとき..... 53
- イベント録画をロックしたとき 54
- microSD カードを
取り出したとき..... 54
- [システム設定] のメニューを
操作しているとき..... 55

付録

- microSD カードの
交換について 57

PC アプリ

- PC アプリ「PC Viewer」..... 43**
- PC アプリインストーラーを
入手する..... 43
- 端末から microSD カードを取り外し、
パソコンに挿入する..... 43
- パソコンへ PC アプリを
インストールする..... 44
- ・ 動作推奨環境..... 44
- PC アプリ「PC Viewer」を
利用する..... 45
- ・ イベント録画から送信したい映像を
選択する..... 45
- ・ ヘルプを確認する..... 47

困ったときは

- よくある
お問い合わせ (FAQ)..... 48
- 故障かな?と思ったら..... 49
- エラーメッセージ..... 51
- 端末を起動したとき..... 51
 - ・ ヒューズを交換するときは..... 51

端末の主な機能

利用場面に応じ、端末は以下の機能を提供します。

- 映像記録機能
→ P.8の「ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について」
- 危険挙動検知機能
→ P.20の「危険挙動警告機能について」
- ハンズフリー機能
→ P.24の「ハンズフリー機能について」
- パソコンによる映像送信機能
→ P.43の「PCアプリ「PC Viewer」」

端末の使い方 (サービスの開始と終了)

端末を利用するには、取付説明書の「端末の取り付け方」に従って取り付け、初期動作確認を行ってください。

端末の使い方

サービスの開始から終了まで

1 付属の電源ケーブルのミニ USB コネクタが端末のミニ USB 電源端子に接続されていることを確認します

2 お車のエンジンをかけます

お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。
お車のエンジンをかけるときは、端末に触れないようにしてください。

3 上部アイコンのみ表示されているら運転開始可能です



4 運転が終了したら、お車のエンジンを切ります

スリープ状態になります。
お車のエンジンをかけると、スリープ状態を解除し端末の電源を再びオンにできます。

メモ

- スリープ状態とは、ACC 電源の供給が絶たれた際、内蔵バッテリーの消費を抑えるために一部機能に制限をかけた状態のことです。

注意

- お車のエンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車等）の場合、端末を利用しないときは必ず付属の電源ケーブルのミニ USB コネクタを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。
- 車内や端末周辺の温度が高い場合、以下の製品保護機能が動作します。
 - 端末の電源をオンにできない。
 - 端末を利用しているときに、電源が自動でオフになる。その場合は、温度が十分に下がってから端末の【電源】ボタンを押し、電源をオンにしてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

メモ

- 端末は、内蔵バッテリーにより付属の電源ケーブルを接続していない状態でも一部の機能は動作します。ただし、内蔵バッテリーは、万が一事故に遭われた際、電源ケーブルが外れた状態でも電池残量がある限り、イベント録画を継続させるためのものです。付属の電源ケーブルを接続してご利用ください。
- 内蔵バッテリーのフル充電までの時間は最短約 2 時間* ですが、端末の状態や端末周辺の環境により、充電に時間がかかったり充電されなかったりする場合があります。
 - * 新品状態で、端末の電源がオフ、端末周辺の温度が 25 °C の場合
- 端末をはじめてご使用になる場合は、起動後に初期動作確認が表示されます。画面に表示される指示および取付説明書をご覧ください。端末の取り付けおよび設定を行ってください。
- お車のエンジンをかけた状態で電源ケーブルを抜き差ししても、端末はスリープ状態 / 電源がオンになります。
- 端末が起動した際にメッセージや設定を行う画面が表示された場合は、画面の表示に従って操作してください。

端末の電源をオフにする

端末を長期間使わない場合や、microSD カード、内蔵バッテリーを交換する場合は、端末の電源をオフにしてください。

お車のエンジンが掛かった状態で以下の操作を行います

端末の使い方

- 1** 【電源】 ボタンを 2 秒以上押し続けます



- 2** ①【↑】/【↓】ボタンで【はい】を選んで、②【決定】ボタンを押します

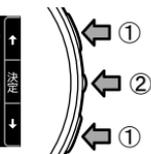
端末の画面表示が消えたら電源オフ完了です。

電源を切る

電源を切ります。
よろしいですか？

はい

いいえ



メモ

- 上記操作で電源オフにしてから再度電源をオンにする場合は、スリープ状態から電源をオンした場合に比べて、端末が起動するまで時間がかかります。

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について

端末のカメラで撮影したお車前方の録画映像は、挿入されている microSD カードに保存されます。また、保存した録画映像は端末やパソコンで再生できます。

録画映像は次の 2 通りあります。

● イベント録画

お車が衝突した際の衝撃や録画ボタンの押下 (緊急通報録画)、現在状況録画※、急加速、急減速、急ハンドルといった危険挙動を検知した時点の 12 秒前から 8 秒後までの状況を自動で録画します。

※現在状況録画について、詳しくはビークルアシストの取扱説明書機能編をご覧ください。

● 常時録画

お車のエンジンをかけてからエンジンを切るまで (端末の電源オンからスリープ状態 (→ P.5) まで) の間の状況を常に録画します。

📌 メモ

- イベント録画を自動でサーバーにアップロードすることができます。詳しくはビークルアシストの取扱説明書 機能編をご覧ください。
- microSD カードに保存できるイベント録画の映像は最大 100 件です。保存された録画映像が上限に達した場合に上書き (古い録画映像から順に上書き) または録画禁止の設定ができます。→ P.16 の「イベント録画の設定をする」
- 上書きしたくない録画映像をロックして保護することができます。→ P.13 の「イベント録画映像を手動でロック/ロック解除する」
- 衝突などの強い衝撃で自動録画されたイベント録画はロックされます。
- ロックされているイベント録画の映像が常時録画可能時間の最大値に達した場合、常時録画および一部のイベント録画が開始できない状態になります。そのような場合にはロックされた映像を解除 (→ P.13) するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.57) してください。
- 常時録画された映像が microSD カードへの保存可能領域の上限に達した場合に上書き (古い録画映像から順に上書き) または録画禁止の設定ができます。→ P.15 の「常時録画の設定をする」

ドライブレコーダー機能に関するご注意

- 夜間の周囲の状況によっては、何も見えない暗い映像が録画がされることがあります。
- 次の場合は、常時録画は中断されます。
 - 端末の向きの確認（→ P.17）のためカメラ映像を表示しているとき
 - microSD カードを抜いているとき
 - 端末の設定を初期化しているとき
 - 初回起動時に各種機能の設定をしているとき以上の操作を終了すると、常時録画は再開されます。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- 端末で録画した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。
- 端末は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 端末が記録した映像やデータは、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。
- 道路の段差を越えるときに生じる振動を、衝撃として検知し、イベント録画を行う場合があります。
- 重大事故などにより本体が損傷するなど、内蔵バッテリーからも電源ケーブルからも給電されない状態になった場合、録画を含む一切の機能が利用できません。また、microSD カード内に記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- 当社では、破損したデータや消去したデータの復元サービスは行っておりません。
- 端末の故障や端末使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ドライブレコーダー機能で録画された映像は、安全のため運転中は再生できません。

録画された映像の取り扱いについて

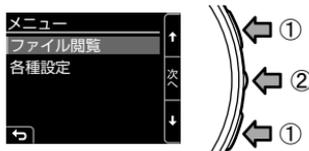
- ドライブレコーダー機能で録画された映像は「MP4」形式（拡張子が「.mp4」）の映像ファイルとして microSD カードに保存されます。
- 映像ファイルはお手持ちのパソコンでも再生可能です。
- microSD カード内の映像ファイルの保存先は次のとおりです。
 - － イベント録画：Movies¥DriveRecorder¥EvtRec
 - － 常時録画：Movies¥DriveRecorder¥RegRec
- 映像の処理中のファイル（拡張子が「.tmp」）など様々な拡張子のファイルが microSD カードの中に残ることがありますが、削除しないでください。
- 常時録画の映像ファイルは 5 分ごとに分割されています。
端末で再生する場合は、電源 ON から OFF までを 1 つの映像として連続再生しますが、PC では分割されたファイルごとの再生となります。

録画した映像を端末で再生する

1 【メニュー】 ボタンを押します



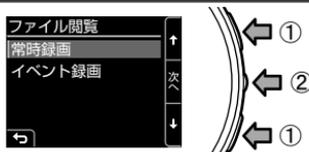
2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【ファイル閲覧】を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



3 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで再
生したい録画映像の種類を選
んで、② 【次へ】 ボタンを押
します

録画された映像の一覧が表示
されます。

再生可能な録画映像が保存されて
いない場合は文字が薄く表示され、
選ぶことができません。

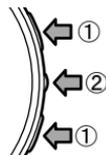


ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

4

- ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで再生したい映像を選んで、
- ② 【決定】 ボタンを押します

選んだ映像が再生されます。

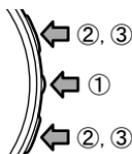


メモ

- ロックされている映像のサムネイルには が表示されます。

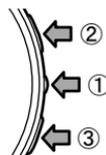
例：イベント録画映像の再生中

- ① ボタンを押すと再生を一時停止します。
- ② ボタンまたは ボタンを押すと早送り／早戻し再生します。
- ③ ボタンまたは ボタンを押すごとに早送り／早戻しの速度が変わります。



例：イベント録画映像の一時停止中

- ① ボタンを押すと再生を再開します。
- ② / ボタンを押すと録画映像のロック／ロック解除ができます。



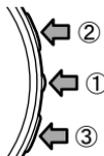
5

- ① ボタンを押すと再生を終了し、前の画面に戻ります



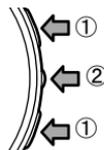
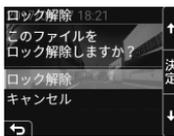
イベント録画映像を手動でロック／ロック解除する

- 1** イベント録画された映像の一時停止中画面で **[🔒]** または **[🔓]** ボタンを押します



- 2** ① **[↑]** / **[↓]** ボタンで **[ロック]** または **[ロック解除]** を選んで、② **[決定]** ボタンを押します

ロック／ロック解除を中止するときは **[キャンセル]** を選んでください。 **[🔒]** ボタンを押しても中止できません。



メモ

- 複数ファイルをまとめてロック／ロック解除することはできません。
- microSD カードの容量がなくなると、ロックされていない古い映像から自動的に削除されます。そのため、古い映像のロックを解除した直後に削除されてしまう可能性があります。

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

ドライブレコーダー機能の確認・変更

ドライブレコーダー機能に関する以下の確認や変更を行うことができます。

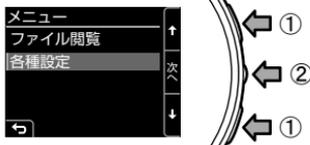
- 音声録音の ON/OFF
- 常時録画の設定
- イベント録画の設定
- 端末の向きを確認

ドライブレコーダーの設定を行う画面を表示する

1 【メニュー】 ボタンを押します



2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
[各種設定] を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します

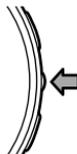
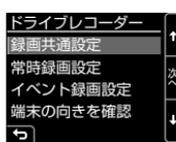


3 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
[ドライブレコーダー] を選ん
で、② 【次へ】 ボタンを押し
ます



音声録音を ON / OFF にする

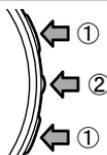
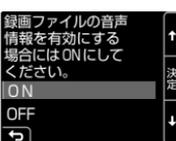
- 1** ドライブレコーダーの設定を行う画面（→P.14）で [録画共通設定] を選んで、【次へ】 ボタンを押します



- 2** ① [音声録音] を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します



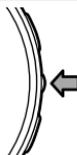
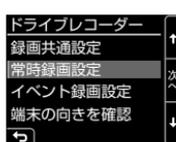
- 3** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [ON] または [OFF] を選んで、② 【決定】 ボタンを押します



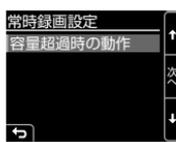
ドライブレコーダー機能（映像記録機能）

常時録画の設定をする

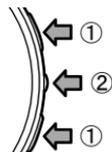
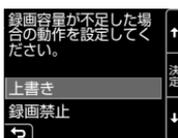
- 1** ドライブレコーダーの設定を行う画面（→P.14）で [常時録画設定] を選んで、【次へ】 ボタンを押します



- 2** ① [容量超過時の動作] を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します

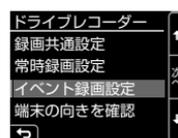


- 3** ①【+】／【-】ボタンで、[上書き] または [録画禁止] を選んで、②【決定】ボタンを押します

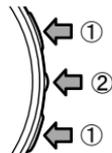
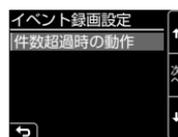


イベント録画の設定をする

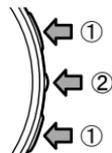
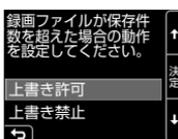
- 1** ドライブレコーダーの設定を行う画面(→P.14)で [イベント録画設定] を選んで、【次へ】ボタンを押します



- 2** ① [件数超過時の動作] を選んで、②【次へ】ボタンを押します



- 3** ①【+】／【-】ボタンで、[上書き許可] または [上書き禁止] を選んで、②【決定】ボタンを押します



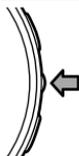
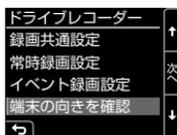
端末の向きを確認する

お車が平坦な場所に停まっていることを確認してから行ってください。

メモ

- 端末の向きを確認する場合は、常時録画が停止します。設定終了後、常時録画は自動で再開されます。

- 1 ドライブレコーダーの設定を行う画面（→P.14）で「端末の向きを確認」を選んで、【次へ】ボタンを押します



ドライブレコーダー機能（映像記録機能）

- 2 画面中央の十字マークがお客様の車の前方中央に合っていること、2箇所緑色の範囲に白いバーが入っていることを確認したら、【決定】ボタンを押します



十字マークおよび画面左の白いバーが上下にずれている場合は、端末固定ネジを緩めて角度を調整してください。十字マークおよび画面下の白いバーが左右にずれている場合は、端末を取り付け直す必要があります。

事故未然防止機能

ヒヤリハット地点警告機能について

端末に収録されているヒヤリハット地点データをもとに、ヒヤリハット地点に近づいたら注意喚起します。



メモ

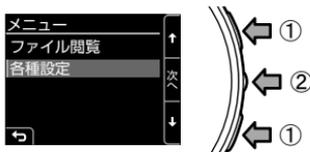
- ヒヤリハット地点とは、急停車が頻発する場所や事故多発地点など、運転に注意が必要な地点のことです。

ヒヤリハット地点警告機能の設定を行う画面を表示する

1 【メニュー】ボタンを押します



2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【各種設定】を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



- 3** ①【↑】／【↓】ボタンで
[事故未然防止設定]を選ん
で、②【次へ】ボタンを押し
ます



ヒヤリハット地点を ON / OFF にする

- 1** ヒヤリハット地点警告機能の
設定を行う画面 (→ P.18)
で [ヒヤリハット地点] を選ん
で、【次へ】ボタンを押します



- 2** ①【↑】／【↓】ボタンで [O
N] または [OFF] を選んで、
②【決定】ボタンを押します



事故予防・事故防止支援機能

危険挙動警告機能

危険挙動警告機能について

危険挙動を検知した際、音声と画面表示で注意喚起します。

危険挙動	危険挙動
	
急加速を 検知しました	急減速を 検知しました
危険挙動	速度超過警告
	
急ハンドルを 検知しました	速度超過を 検知しました。

メモ

- 画面表示は、しばらくしたら元の画面に戻ります。
- 危険挙動と判断されるのは、急加速、急減速、急ハンドル、速度超過です。
- 急加速、急減速、急ハンドルを検知した時点の映像はイベント録画として録画されます。(速度超過は録画されません)

衝撃検知機能

衝撃検知機能について

事故等による強い衝撃を検知した際、音声と画面表示で注意喚起します。



メモ

- 画面表示は、しばらくしたら元の画面に戻ります。
- 強い衝撃を検知した時点の映像はイベント録画として録画されます。
- 衝撃と判断されるのは、端末が強い衝撃（事故相当）です。そのため、以下のような低速かつ、車以外との接触による事故は衝撃が小さく、事故を検知できないことがあります。

その他警告機能について

その他、長時間運転や速度超過、アイドリングなどを注意喚起します。



緊急通報録画機能

緊急通報録画機能について

端末の録画ボタンを長押しすると、録画ボタンが押されたことを検知した時点から前 12 秒間、後 8 秒間（計 20 秒間）の映像が録画されます。

メモ

- 緊急通報録画を自動でサーバーにアップロードすることができます。詳しくはビークルアシストの取扱説明書 機能編をご覧ください。

緊急通報録画をする

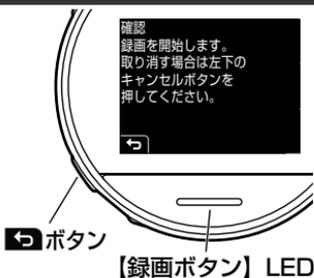
1 [録画ボタン]を長押しします



2 緊急通報録画を開始します 取り消す場合は左下のキャンセルボタンを押します

メモ

- 緊急通報録画を中止する場合は、を押します。
- 緊急通報録画の間は、[録画ボタン]のLEDが点灯します。
- 端末がスリープ状態または端末の電源がオフの場合はLEDが消灯しますが、緊急通報録画は解除されません。
- 緊急通報録画の間に、もう一度[録画ボタン]を押しても、新たな録画は開始されません。



ハンズフリー機能

ハンズフリー機能について

端末と携帯電話を Bluetooth 接続すると、携帯電話の発信・着信時に端末を通して通話することができます。

メモ

- 本機能を使用するには、あらかじめ Bluetooth 設定が必要です。
→ P.37 の「Bluetooth 設定をする」
- 本機能はハンズフリープロファイルの設定により ON/OFF が可能です。
→ P.40 の「HFP (ハンズフリープロファイル) 接続を ON / OFF にする」

電話のかけ方

- 1 車を停車し、電話したい相手に
携帯電話から電話をかけます
通話中画面が表示されます。

- 2 通話を終了するとき
は【終了】ボタンを
押します



メモ

- 【HF OFF】ボタンを押すとハンズフリー機能が解除され、ホーム画面に戻ります。

電話の受け方

1 着信中と表示されたら【応答】ボタンを押します

通話中画面が表示されます。



メモ

- 【拒否】 ボタンを押すと着信を拒否できます。
- 【HF OFF】 ボタンを押すとハンズフリー機能が解除され、ホーム画面に戻ります。

ハンズフリー機能

2 通話を終了するときには【終了】ボタンを押します



メモ

- 【HF OFF】 ボタンを押すとハンズフリー機能が解除され、ホーム画面に戻ります。
- 【+】 / 【-】 ボタンを押すと通話音量が調整できます。

車速情報の取得方法の設定

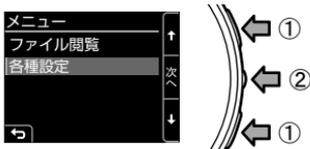
車速情報の取得方法の設定をしてください。

情報通知設定を行う画面を表示する

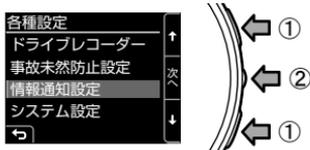
1 【メニュー】 ボタンを押します



2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【各種設定】を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



3 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【情報通知設定】を選んで、②
【次へ】 ボタンを押します



車速情報の取得方法を設定する

- 1** 情報通知設定を行う画面（→ P.26）で、[車速情報選択]を選んで、【次へ】ボタンを押します



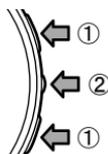
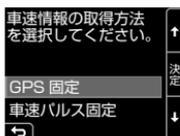
- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [GPS 固定] または [車速パルス固定] を選んで、
② 【決定】 ボタンを押します

車速パルスケーブルを接続している場合は、[車速パルス固定]を選んでください。

車速パルスケーブルを接続していない場合は、[GPS 固定]を選んでください。

⚠️ メモ

- 車速パルスケーブルが接続されていない場合に「車速パルス固定」を選択すると正しい車速が表示されません。



車速情報・システム設定・ファームウェアアップデート

システム設定の確認・変更

端末に関する以下の確認や変更を行うことができます。

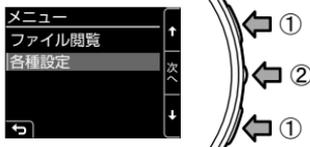
- 操作ロック設定・解除
- 音声メッセージと効果音等の音量設定
- 端末の明るさ設定
- モニター表示状態の設定
- microSD カードの初期化
- 端末の設定初期化
- 端末の識別番号（IMEI 番号）の確認
- 法的情報の確認
- 端末のシステムバージョンの確認
- Bluetooth 接続の設定

システム設定を行う画面を表示する

1 【メニュー】 ボタンを押します



2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【各種設定】を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



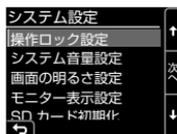
3 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで
【システム設定】を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



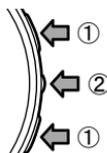
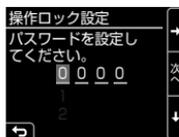
操作ロックを設定する

システム設定にパスワードを設定することができます。
パスワードを解除しないとシステム設定ができません。

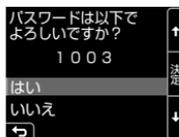
- 1** システム設定を行う画面
(→ P.28) で [操作ロック
設定] を選んで、[次へ]
ボタンを押します



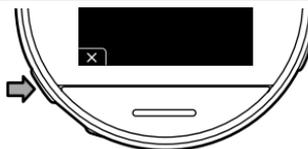
- 2** ① [→] / [↓] ボタンでパ
スワードを設定したら、
② [次へ] ボタンを押します



- 3** ① [↑] / [↓] ボタンで
[はい] を選んで、
② [決定] ボタンを押します



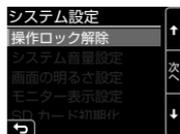
- 4** パスワードが設定されたら、
[×] ボタンを押します



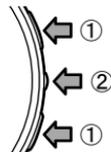
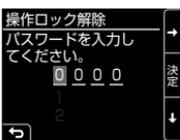
車速情報・システム設定・ファームウェアアップデート

操作ロックを解除する

- 1** システム設定を行う画面
(→ P.28) で [操作ロック
解除] を選んで、【次へ】ボタ
ンを押します

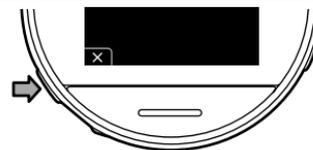


- 2** ① 【→】 / 【↓】 ボタンでパ
スワードを入力したら、
② 【決定】 ボタンを押します



- 3** パスワードが解除されたら、
【×】 ボタンを押します

システム設定を行う画面が表示
され、システム設定を行うこと
ができます。

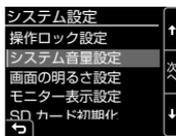


メモ

- パスワードが間違っている場合、【×】 ボタンを押して、再度パスワードを入力してください。
- パスワードを忘れた場合は有償修理となります。販売元にお問い合わせください。

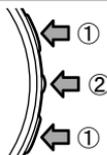
音声メッセージと警告音等の音量を設定する

- 1 システム設定を行う画面(→P.28)で[システム音量設定]を選んで、【次へ】ボタンを押します



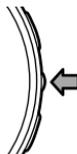
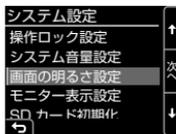
- 2 ①【+】／【-】ボタンで音量を設定したら、②【決定】ボタンを押します

OFFまたは1～5の範囲で設定できます。



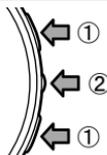
端末の明るさを設定する

- 1 システム設定を行う画面(→P.28)で[画面の明るさ設定]を選んで、【次へ】ボタンを押します



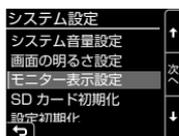
- 2 ①【+】／【-】ボタンで好みの明るさに設定したら、②【決定】ボタンを押します

5段階で設定できます。

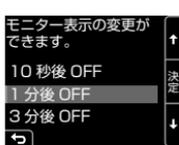


モニターの表示状態を設定する

- 1** システム設定を行う画面 (→ P.28) で [モニター表示設定] を選んで、[次へ] ボタンを押します



- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンでお好みの表示状態に設定したら、
② 【決定】 ボタンを押します



10秒後OFF	端末の操作が約 10 秒間行われなかった場合に画面表示を消します。
1分後OFF	端末の操作が約 1 分間行われなかった場合に画面表示を消します。
3分後OFF	端末の操作が約 3 分間行われなかった場合に画面表示を消します。

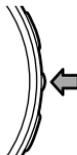
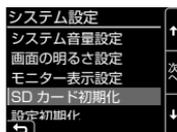
※ お車のご利用状態により端末の温度が上昇すると、システムの保護のためモニター表示を制限する場合があります。

microSD カードを初期化する

⚠ 注意

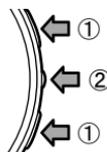
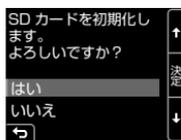
- microSD カードの初期化を行うと、全ての映像が消去されます。
- 重要な映像は初期化を行う前にPCでバックアップを取ってください。
- microSD カードは定期的に初期化をしてください。

- 1** システム設定を行う画面 (→ P.28) で [SD カード初期化] を選んで、[次へ] ボタンを押します



- 2** ①【↑】/【↓】ボタンで [はい] を選んで、②【決定】ボタンを押します

SD カードの初期化を中止するときは、[いいえ] を選ぶか [戻る] ボタンを押してください。



- 3** 【×】 ボタンを押します

SD カードの初期化が失敗したときはメッセージが流れます。→ P.55 の『[システム設定]』のメニューを操作しているときをご覧ください。



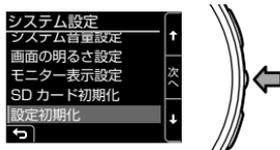
端末の設定を初期化する

端末を工場出荷時の状態に戻したいときは、設定を初期化します。

メモ

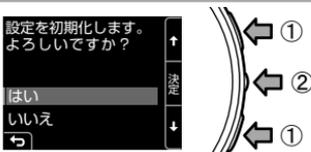
- 以下の項目は初期化されません。
 - アップデートしたデータ
 - 録画ファイルを含む、microSD カードの内容

- 1** システム設定を行う画面
(→ P.28) で [設定初期化]
を選んで、[次へ]
を押します



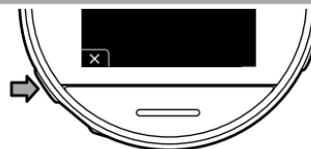
- 2** ①【↑】/【↓】ボタンで [はい]
を選んで、②【決定】ボタン
を押します

端末の初期化を中止するときは、
[いいえ] を選ぶか  ボタンを
押してください。



- 3** 【×】ボタンを押します

端末の設定初期化が失敗した
ときはメッセージが流れます。
→ P.55 の『[システム設定]
のメニューを操作しているとき』
をご覧ください。



端末の認識番号 (IMEI 番号) を確認する

- 1 システム設定を行う画面 (→ P.28) で [IMEI 番号] を選んで、【次へ】 ボタンを押します



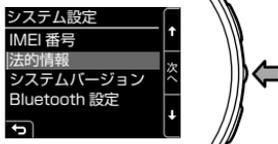
- 2 IMEI 番号を確認したら、【戻る】 ボタンを押します



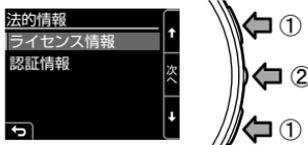
法的情報を確認する

端末で使用されているオープンソースソフトウェアのライセンスおよび端末の認証情報を確認できます。

- 1 システム設定を行う画面 (→ P.28) で [法的情報] を選んで、【次へ】 ボタンを押します



- 2 ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [ライセンス情報] または [認証情報] を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



- 3 ライセンス情報または認証情報を確認したら、【戻る】 ボタンを押します



端末のシステムのバージョンを確認する

- 1 システム設定を行う画面（→P.28）で[システムバージョン]を選んで、[次へ]ボタンを押します



- 2 システムバージョンを確認したら、[戻る]ボタンを押します



Bluetooth 設定をする

端末は、次の Bluetooth プロファイルに対応した機器と Bluetooth 接続ができます。

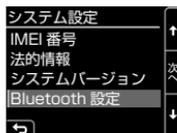
- Hands Free Profile (HFP)
- Dial Up Networking (DUN)
- Serial Port Profile (SPP)
- Human Interface Device Profile (HID)
- Generic Attribute Profile (GATT)

メモ

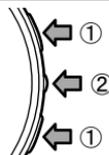
- あらかじめ端末と接続する機器の Bluetooth 機能をオンにしてください。また、端末から機器を検出できるように、機器の Bluetooth 検出設定をオンにしてください。

Bluetooth 接続を ON / OFF にする

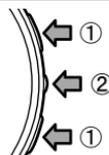
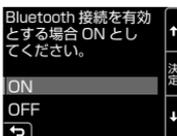
- 1** システム設定を行う画面 (→ P.28) で [Bluetooth 設定] を選んで、[次へ] ボタンを押します



- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [Bluetooth 接続] を選んで、
② 【次へ】 ボタンを押します



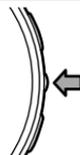
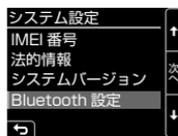
- 3** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [ON] または [OFF] を選んで、
② 【決定】 ボタンを押します



車速情報・システム設定・ファームウェアアップデート

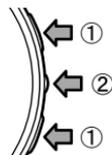
端末周辺の機器を探して接続する

- 1** システム設定を行う画面（→ P.28）で [Bluetooth 設定] を選んで、【次へ】ボタンを押します



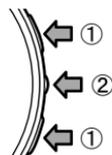
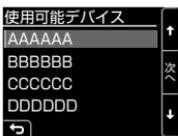
- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [使用可能デバイス] を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します

Bluetooth 接続が ON になっている場合のみ選択できます。



- 3** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで 接続したい機器を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します

状況により、希望の機器が見つかるまで時間がかかる場合があります。

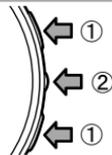
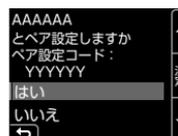


- 4** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [はい] を選んで、② 【決定】 ボタンを押します

機器にペアリングコードを入力すれば、Bluetooth 対応デバイスの登録は完了です。

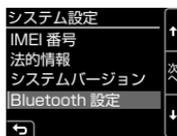
登録が完了すると自動で端末と接続します。

接続を中止するときは、[いいえ] を選ぶか 【戻る】 ボタンを押してください。



接続する機器から本端末を探して接続する

- 1 システム設定を行う画面（→ P.28）で [Bluetooth 設定] を選んで、【次へ】ボタンを押します



- 2 ①【↑】 / 【↓】 ボタンで [使用可能デバイス] を選んで、②【次へ】 ボタンを押します

Bluetooth 接続が ON になっている場合のみ選択できます。

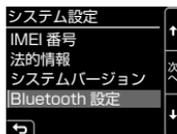


- 3 この画面が表示された状態で、接続する機器から本端末の検索を行ってください。接続方法については、接続する機器の使い方に従ってください。



機器との接続を切断 / 登録解除する

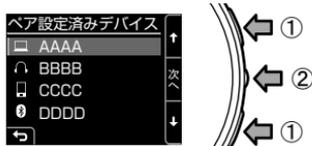
- 1 システム設定を行う画面（→ P.28）で [Bluetooth 設定] を選んで、【次へ】ボタンを押します



- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [ペア設定済デバイス] を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します



- 3** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで登録解除または切断したい機器を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します

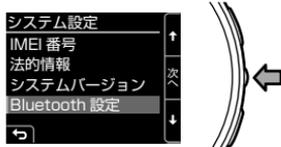


- 4** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [登録解除する] または [切断する] を選んで、② 【決定】 ボタンを押します
選んだ機器が登録解除・切断されます。



HFP (ハンズフリープロファイル) 接続を ON / OFF にする
ハンズフリープロファイルを設定できます。

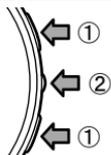
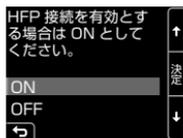
- 1** システム設定を行う画面 (→ P.28) で [Bluetooth 設定] を選んで、【次へ】 ボタンを押します



- 2** ① 【↑】 / 【↓】 ボタンで [HFP 設定] を選んで、② 【次へ】 ボタンを押します

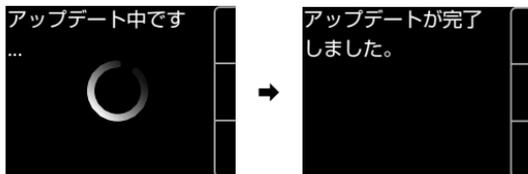


- 3** ①【↑】／【↓】ボタンで [ON]
または [OFF] を選んで、
②【決定】 ボタンを押します



端末をアップデートする

サーバーからアップデートが要求されると、サーバーからデータをダウンロードします。その後自動で再起動が行われ、アップデート処理を行います。



メモ

- 端末のソフトウェア、機能設定ファイルは、アップデート完了後に「ホーム画面」が表示されます。
- 通信圏外にいるときは、アップデートデータのダウンロードは行われません。
- アップデート時は端末が再起動します。アップデート動作が終わるまで操作せずお待ちください。
- ご利用者が多く、通信環境が混み合っているときは、ダウンロードを行わない場合があります。
- アップデートには約3分かかります*。アップデート中は、映像記録など一部の機能がご利用いただけません。

可能であれば、お車を安全な場所に駐車し、エンジンを切らずにお待ちください。

*アップデート時間はアップデート内容により異なります。

PC アプリ「PC Viewer」

端末で録画した映像を、ご自宅のパソコンで確認することができます。
また、イベント録画をサーバーへ送信することもできます。

PC アプリインストーラーを入手する

PC アプリのインストーラーは、端末に挿入された microSD カードへ自動的にコピーされます。

メモ

- 端末にはじめて microSD カードを挿入した場合は、端末の電源をオンにしてください。電源オフ状態の端末に microSD カードを挿入しただけでは、PC アプリのインストーラーはコピーされません。

端末から microSD カードを取り外し、パソコンに挿入する

1 端末の電源をオフにします

→ P.7 の「端末の電源をオフにする」

2 “カチッ” と音がするまで、挿入されている microSD カードを押し込んで離します



PC アプリ

注意

- microSD カードは勢いよく飛び出す場合があるので、中央部をゆっくりと押し離し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外した microSD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カードの端子部分には触れないでください。接触不良や破損の原因になります。

3 端末から microSD カードを取り外し、パソコンに挿入します

お客様のパソコンに SD カードスロットがあるかどうか確認し、挿入してください。SD カードスロットのないパソコンの場合は、市販の SD カードリーダー等をご準備ください。

⚠ 注意

- SD カードスロットに挿し込む際は向きをよく確認し、無理に挿し込まないようにしてください。誤ったスロットに挿し込むと、取り出せなくなることがあります。

📝 メモ

- パソコンの SD カードスロットまたは市販の SD カードリーダーの規格に合わせ、必要に応じて付属の SD カードアダプタをお使いください。

パソコンへ PC アプリをインストールする

パソコンに microSD カードを挿入し、自動再生ダイアログが表示されたら、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してください。microSD カード内に保存されている PC アプリインストーラー  (PC Viewer_installer.exe) を実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

⚠ 注意

- インストールの際、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

動作推奨環境

- OS : Windows 10 32 bit/64 bit
- CPU : Intel Core i5 3320M 2.6 GHz 以上
- 画面解像度 : 1024x768 以上
- HDD 空き容量 : 1 GB 以上
- * インストール時に管理者権限が必要です。
- * タブレット PC での動作は保証しておりません。

- * 画面解像度が表記未満の場合は、アプリの表示する画面が収まりません。
- * インターネット接続が可能であること。
- * 上記の条件を満たす全てのパソコンで動作を保証するものではありません。
- * OSのアップグレード環境、マルチブート環境、自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証していません。
- * Macintosh は非対応です。
- * Modern UI design 機能は非対応です。
- * パソコンの環境によっては、microSD カードが認識できなかったり一部機能をご利用いただけないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、提供元および製造元に故意または重過失がない限り、提供元および製造元はその責任を負いません。
- * パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。

PC アプリ「PC Viewer」を利用する

はじめて利用する場合は、インストール後、デスクトップ上のアイコンを実行して起動してください。既にインストール済みの場合、microSD カードを挿入すると自動的に PC アプリ「PC Viewer」が起動します。

PC
ア
プ
リ

注意

- 映像送信にはインターネット通信を使用します。そのため通信費用が発生する場合があります。

イベント録画から送信したい映像を選択する

まず送信したい映像が [イベント録画] に保存されているか確認してください。

1 画面左上のタブから「イベント録画」を選びます



イベント録画	詳細検索	
フィルタ: 「 済」		
イベント発生日時	映像名	状態
2017/02/09 16:41:57	映像名	
2017/02/09 16:41:43	映像名	
2017/02/09 13:18:29	映像名	
2017/02/09 14:48:57	映像名	
2017/02/09 13:56:56	映像名	
2017/02/09 13:09:29	映像名	
2017/02/09 12:06:41	映像名	
2017/02/09 10:21:34	映像名	
2017/02/27 14:26:39	映像名	
2017/02/27 14:12:31	映像名	
2017/02/27 14:11:59	映像名	
2017/02/09 11:12:09	映像名	

2 おおよその時刻がわかっている場合はイベント発生日時を参考に、映像を選びます

メモ

- フィルタボタンを押すと、絞り込みが可能です。撮影された映像の数が多すぎて探しづらいときなどにご利用ください。

3 再生ボタンを押し、映像を確認します



4 映像送信ボタンを押し、映像をサーバーへ送信します

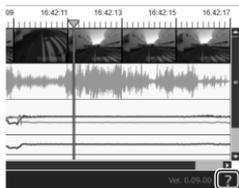


メモ

- 送信済みの映像にはリスト上に「済」が表示されます。

ヘルプを確認する

画面右下の「?」をクリックすると、より詳細なアプリの使い方が確認できます。



よくあるお問い合わせ (FAQ)

Q 端末の通信機能や映像記録機能が正常に機能しているか確認する方法はありますか？

A 「ホーム画面」に表示されるステータスバーのアイコンでご確認ください。

Q 全ての事故が衝撃検知としてイベント録画されるのですか？

A 端末が強い衝撃を検知した場合に記録いたします (→ P.8)。そのため、以下のような低速かつ、車以外との接触による事故は衝撃が小さく、事故を検知できないことがあります。

- 駐車場で人と接触
- 駐車場入り口で自転車と接触

故障かな?と思ったら

電源が入る場合は以下の操作を行ってください。

一度お車のエンジンを切って、再度エンジンをかけてください。解決しない場合は【リセット】ボタン（→取付説明書）を押して端末を再起動してください。

それでも解決されない場合、以下をご確認ください。

症状 エラーメッセージ「●●」が表示されません。

処置 →P.51の「エラーメッセージ」をご確認ください。

症状 端末の電源が入りません。

処置 電源ケーブルがきちんと接続できているかをご確認ください。また、電源ケーブルの給電インジケータの点灯状態もご確認ください。

症状 映像がはっきり映りません。

処置 フロントガラスやカメラに汚れがないか確認し、汚れがある場合は柔らかい布等で拭き取ってください。

症状 エンジンを切っても電源が切れません。

処置 エンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種の場合、端末を使用しないときは必ず端末から電源ケーブルのミニUSBコネクタを抜いてください。抜き忘れると車のバッテリー上がりの原因になります。

症状 運転中に突然端末が再起動してしまいました。

処置 電源ケーブルの接触不良により再起動することがあります。電源ケーブルの接続状態をご確認ください。

症状 頻繁に危険挙動警告音が鳴ります。

処置 端末固定ネジが緩むなどの原因で、端末がぐらついていないかご確認ください。

困ったときは



症状 音声記録されていません。

処置 音声記録設定が OFF に設定されていると音声記録が出来ません、ON に設定してください。

エラーメッセージ

ご利用中にエラーメッセージが出た場合は下記をご確認ください。

端末を起動したとき

「端末が正しく取り付けられていない可能性があります。端末の向きを変え、緑色の範囲内に白いバーが入るように角度を調整してください。」

原因 取り付けられた端末の向きが正しくない可能性があります。

処置 十字マークおよび画面左の白いバーが上下にずれている場合は、端末固定ネジを緩めて角度を調整してください。十字マークおよび画面下の白いバーが左右にずれている場合は、端末を取り付け直す必要があります。

「給電が検知できないため、サービスを開始できませんでした。給電検知後に自動的に開始します。」

原因 端末に電源ケーブルから給電されていません。

処置 電源ケーブルの接続状態やヒューズをご確認ください。

ヒューズを交換するときは

電源が入らないときや充電できない場合は、ヒューズ切れを確認してください。

ヒューズを交換するときは

電源ケーブルのヒューズケースを回して開ける



メモ

- ヒューズが切れているときは、新しいミニ管ヒューズ（直径 5.2 mm / 長さ 20 mm）に交換して、ヒューズケースをしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ（3A/250V）と交換してください。

困ったときは

「SD カードが検知できないため、サービスを開始できませんでした。
SD カードを挿入してください。」

原因 microSD カードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 端末下部の microSD カードスロットに正しい向きで microSD カードが挿入されていることをご確認ください。

「システムエラーが発生したため、カメラを使用することができません。」

原因 カメラの故障の可能性があります。

処置 端末の交換が必要な場合があります。

端末を再起動しても症状が回復しない場合は、販売元にお問い合わせ
をください。

「microSD カードの容量が小さいため、録画を開始できませんでした。
容量の大きなカードをご使用ください。」

原因 8 GB 未満の microSD カードが挿入されているため、録画を開始
できませんでした。

処置 8 GB 未満の microSDHC カードには対応していません。8 GB
～ 32 GB の microSDHC カードをご使用ください。

ドライブレコーダー機能を利用しているとき

「microSD カードの空き容量が不足しているため、録画を開始できませんでした。カードの空き容量を増やすか、カードを交換してください。」

原因 ロックされているファイルの増加により常時録画を開始するための容量が不足しています。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しいmicroSD カードに交換 (→ P.57) してください。

「microSD カードの空き容量が不足したため録画を停止しました。カードの空き容量を増やすか、カードを交換してください。」

原因 ロックされているファイルの増加により常時録画を開始するための容量が不足しました。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しいmicroSD カードに交換 (→ P.57) してください。

「まもなく保存されているロックファイルが最大に達します。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイルがまもなく最大に達します。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しいmicroSD カードに交換 (→ P.57) してください。

「保存されているロックファイルが最大に達しました。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が最大値に達しました。常時録画および一部のイベント録画が開始できません。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しいmicroSD カードに交換 (→ P.57) してください。

困ったときは

「保存されているロックファイルが最大に達しているため、録画が開始できません。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が最大値に達しました。常時録画および一部のイベント録画が開始できませんでした。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.57) してください。

「microSD カードが挿入されていないため録画を開始できませんでした。microSD カードを確認してください。」

原因 microSD カードが挿入されていません。

処置 microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていることを確認してください。

イベント録画をロックしたとき

「保存されているロックファイルが最大に達しているため、ロックできませんでした。」

原因 保存されているロックファイルが最大に達しています。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.57) してください。

microSD カードを取り出したとき

「microSD カードを取り出す前に端末のシャットダウンを行ってください。」

原因 端末のシャットダウン前に microSD カードが取り出されました。

処置 microSD カードを取り出す前に端末のシャットダウンを行ってください。シャットダウン状態で取り外しを行わないと、microSD カードの破損またはデータが壊れる可能性があります。

【システム設定】のメニューを操作しているとき

「設定の初期化に失敗しました。」

原因 設定の初期化に失敗しました。

処置 端末の交換が必要な場合があります。

「SD カードの初期化に失敗しました。」

原因 SD カードの初期化に失敗しました。

処置 一度お車のエンジンを切って、microSD カードの抜き差しを行ってからエンジンをかけ、再度 microSD カードの初期化を行ってください。

「削除に失敗しました。」

原因 切断処理に失敗しました。(接続中のものを削除する際)

処置 ネットワーク状態に異常がないか確認したうえで再削除を試みてください。接続先が不安定な場合、切断処理と自然切断が重なって失敗するケースがあります。

「切断に失敗しました。」

原因 ネットワークの切断処理に失敗しました。

処置 ネットワーク状態に異常がないか確認したうえで再削除を試みてください。接続先が不安定な場合、切断処理と自然切断が重なって失敗するケースがあります。

困ったときは

「デバイス登録に失敗しました。」

- 原因
1. デバイス登録確認時に、接続相手が [キャンセル] を選択しました。
 2. デバイス登録確認時に、タイムアウトが発生しました。
 3. デバイス設定中等に遷移する前に、接続相手と通信が遮断されました。
 4. デバイス設定中等で接続相手とのペアリングに失敗しました。

- 処置
1. 接続相手との接続環境が不安定になってないか見直してください。
 2. なるべく早くペアリング処理に入るようにお願いします。
 3. 接続相手との接続環境が不安定になってないか見直してください。
 4. 接続相手との接続環境が不安定になってないか見直してください。

「切断に失敗しました。」

- 原因
1. ペアリング済み一覧から Bluetooth 接続切断処理を行い失敗しました。

- 処置
1. 接続相手との接続環境が不安定になってないか見直してください。

「接続に失敗しました。」

- 原因
1. 接続処理開始時に Bluetooth 自体の機能が OFF になっています。
 2. ペアリング接続に失敗しました。

- 処置
1. 端末側の Bluetooth 機能をご確認ください。
 2. 接続相手との接続環境が不安定になってないか見直してください。

microSD カードの交換について

メモ

- 端末は 8 GB ~ 32 GB の microSDHC カードに対応しています。
- microSDXC メモリーカードには対応していません。

1 端末の電源をオフにします

→ P.7 の「端末の電源をオフにする」

2 “カチッ” と音がするまで、挿入されている microSD カードを押し込んで離します



⚠ 注意

- microSD カードは勢いよく飛び出す場合があるので、中央部をゆっくりと押しつけて離し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外した microSD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様や飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カードの端子部分には触れないでください。接触不良の原因になります。

付録

3 “カチッ” と音がするまで、新しい microSD カードを差し込みます

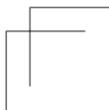
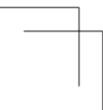
端子のある面をカメラ側にして差し込んでください。

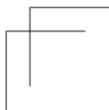
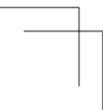


4 端末の電源をオンにします

→ P.5 の「端末の使い方 (サービスの開始と終了)」

端末を取り外して microSD カードを交換した場合は、端末の向きをご確認ください。→ P.17 の「端末の向きを確認する」





パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

<CYR1216-A>